2016 年国勢試験調査

2020 年の国勢調査に向けた試験調査

米国国勢調査局は、2020 年の国勢調査において調査の対象となる世帯が、米国市民としての義務を果たすための近代的で費用対効果の高い方法を研究しています。国勢調査局はインターネット、電話、従来の紙の調査票、または戸別訪問のいずれの手段にせよ、参加者に対して義務付けられた 10 年に 1 度の国勢調査を迅速、簡単かつ安全に実施するよう努めています。

2016 年国勢試験調査では、米国国勢調査局が 2020 年の国勢調査で利用を検討している様々な新しい手法や最新の技術について、規模を限定して実施します。国勢調査局は新しい調査の計画、実施、運営プロセスについて試験調査を行います。また、国勢調査への回答を回収、処理するための新しい技術の評価も行います。

ロサンゼルス郡

国勢調査局は、カリフォルニア州ロサンゼルス郡の一部の地域を対象に 2016 年国勢試験調査を実施します。試験地域にはおよそ 22 万 5 千世帯が含まれています。

国勢試験調査の実施日は 2016 年 4 月 1 日です。

ロサンゼルス郡における 2016 年国勢試験調査の目的

2016 年国勢試験調査では、米国国勢調査局が 2020 年の国勢調査で利用を検討している様々な新しい手法や最新の技術を研究することができます。試験調査の主な目的は、個別訪問によって行われる未回答世帯へのフォローアップ方法を改善することにあります。また国勢調査局は、2020 年の国勢調査時に（特にインターネットを利用して）自ら回答いただける世帯数を最大化する方法と関連活動についても改善を行う予定です。2 つの地域で調査を行うことにより、複数の場所での新しいシステムの同時管理について詳しく学ぶことができます。

目標

- 未回答世帯へのフォローアップを行う現場調査員にケースを割り当てる技術と手法を改善し、データ収集とケースマネジメントへのモバイル技術の利用についても引き続き改善を行う。
- 政府や民間企業に提出済みの情報を利用して、調査員のフォローアップ業務負担を軽減する最善の方法を引き続き追求する（例：空き家を特定したり、連絡の取れない世帯への訪問回数を減らすために記録媒体を利用する）。
- 従来、調査が困難な世帯との接触に向けて、多言語でのサポートを含め、パートナーシップ活動やアウトリーチ活動の推進を検討する。
- インターネット、モバイル機器、電話、および紙の調査票など、自ら回答いただける方法について研究を続ける。また、この試験調査は、国勢調査局提供の固有の住所 ID コードがない回答をリアルタイムで処理する方法（非 ID 処理）の改善についても引き続きサポートします。

詳しくは、*census.gov.* をご覧ください。

United States Census Bureau
U.S. Department of Commerce
Economics and Statistics Administration
U.S. CENSUS BUREAU
census.gov

SA-542/14(JA)